

---

平成22年度

地方公共団体金融機構決算の概要

地方公共団体金融機構

## 平成22年度決算のポイント

- ◆ 経常利益は2,475億円。特別利益(準備金・積立金取崩し)2,339億円、特別損失(準備金繰入れ)4,654億円を計上したため、純利益は160億円。
- ◆ 資産総額は貸付金等23兆2,267億円、負債総額は債券等23兆1,574億円、純資産総額は出資金等693億円を計上。
- ◆ 地方公共団体健全化基金は9,158億円、金利変動準備金は6,600億円、公庫債権金利変動準備金は3兆1,365億円を計上。
- ◆ 会計処理等は、原則として企業会計原則による。なお、地方公共団体健全化基金、金利変動準備金等の機構特有の財務基盤に係る会計処理については、関係法令の規定等による。

# 利益の状況 [機構全体]

- ◆ 平成22年度の**経常利益は2,475億円**で、平成21年度より26億円減少。
- ◆ 経常費用が債券利息の減少等により159億円減少した一方、経常収益が貸付金利息の減少等により185億円減少したことが要因。
- ◆ 公庫債権金利変動準備金繰入額が108億円減少したこと等もあり、**純利益は160億円**で、平成21年度より72億円増加。

## 【平成21年度決算】

経常収益	5,585億円
貸付金利息	5,530億円
余資運用益	26億円
その他	28億円
経常費用	3,083億円
債券利息	2,954億円
その他	128億円
経常利益	2,501億円
特別利益	2,350億円
公庫変動準備金取崩額	2,200億円
利差補てん取崩額	150億円
特別損失	4,763億円
金利変動準備金繰入額	2,200億円
公庫変動準備金繰入額	2,563億円
<b>純利益</b>	<b>88億円</b>

経常利益は  
26億円減少



純利益は  
72億円増加

## 【平成22年度決算】

経常収益	5,399億円	(▲185億円)
貸付金利息	5,358億円	(▲171億円)
余資運用益	12億円	(▲14億円)
その他	29億円	(1億円)
経常費用	2,924億円	(▲159億円)
債券利息	2,828億円	(▲126億円)
その他	96億円	(▲32億円)
経常利益	2,475億円	(▲26億円)
特別利益	2,339億円	(▲10億円)
公庫変動準備金取崩額	2,200億円	(-)
利差補てん取崩額	139億円	(▲10億円)
特別損失	4,654億円	(▲108億円)
金利変動準備金繰入額	2,200億円	(-)
公庫変動準備金繰入額	2,454億円	(▲108億円)
<b>純利益</b>	<b>160億円</b>	<b>(72億円)</b>

# 利益の状況 [一般勘定]

- ◆ 平成22年度の一般勘定における**経常利益及び純利益は80億円**で、平成21年度より34億円増加。
- ◆ 貸付金利息は259億円増加。一方、債券利息は181億円の増加に止まり、77億円の増益要因となった。
- ◆ 基金組入額が15億円減少したが、基金関連の勘定間取引を含め、基金関係全般では46億円の減益要因が生じた。

## 【平成21年度決算】

経常収益	458億円
貸付金利息	154億円
余資運用益	26億円
金利スワップ受入利息	26億円
その他※1	251億円
経常費用	412億円
債券利息	114億円
その他業務費用	21億円
営業経費	22億円
基金組入額	37億円
その他※2	216億円
経常利益	45億円
特別利益	2,200億円
管理勘定繰入金	2,200億円
特別損失	2,200億円
金利変動準備金繰入額	2,200億円
<b>純利益</b>	<b>45億円</b>

経常利益は  
34億円増加



純利益は  
34億円増加

## 【平成22年度決算】

経常収益	620億円	(162億円)
貸付金利息	413億円	(259億円)
余資運用益	12億円	(▲14億円)
金利スワップ受入利息	25億円	(▲1億円)
その他※1	168億円	(▲82億円)
経常費用	540億円	(127億円)
債券利息	296億円	(181億円)
その他業務費用	23億円	(1億円)
営業経費	22億円	(0億円)
基金組入額	21億円	(▲15億円)
その他※2	176億円	(▲40億円)
経常利益	80億円	(34億円)
特別利益	2,200億円	(-)
管理勘定繰入金	2,200億円	(-)
特別損失	2,200億円	(-)
金利変動準備金繰入額	2,200億円	(-)
<b>純利益</b>	<b>80億円</b>	<b>(34億円)</b>

※1 うち、健全化基金受取利息について、H21決算は239億円、H22決算は157億円。

※2 うち、健全化基金管理勘定繰出金について、H21決算は190億円、H22決算は169億円。

# 利益の状況 [管理勘定]

- ◆ 平成22年度の**経常利益は2,395億円**で、平成21年度より60億円減少。**純利益は80億円**で、平成21年度より37億円増加。
- ◆ 債券利息は308億円減少。一方、貸付金利息は431億円の減少となり、123億円の減益要因となった。
- ◆ 基金関係では、基金関連の勘定間取引により61億円の増益要因が生じた。
- ◆ 準備金関係では、公庫債権金利変動準備金繰入額が108億円の減少となり、同額の増益要因となった。

## 【平成21年度決算】

経常収益	5,577億円
貸付金利息	5,375億円
その他※1	202億円
経常費用	3,121億円
債券利息	2,839億円
その他※2	281億円
経常利益	2,456億円
特別利益	2,350億円
公庫変動準備金取崩額	2,200億円
利差補てん取崩額	150億円
特別損失	4,763億円
公庫変動準備金繰入額	2,563億円
一般勘定繰出金	2,200億円
<b>純利益</b>	<b>43億円</b>

経常利益は  
60億円減少



純利益は  
37億円増加

## 【平成22年度決算】

経常収益	5,122億円	(▲455億円)
貸付金利息	4,944億円	(▲431億円)
その他※1	177億円	(▲24億円)
経常費用	2,727億円	(▲394億円)
債券利息	2,531億円	(▲308億円)
その他※2	195億円	(▲86億円)
経常利益	2,395億円	(▲60億円)
特別利益	2,339億円	(▲10億円)
公庫変動準備金取崩額	2,200億円	(-)
利差補てん取崩額	139億円	(▲10億円)
特別損失	4,654億円	(▲108億円)
公庫変動準備金繰入額	2,454億円	(▲108億円)
一般勘定繰出金	2,200億円	(-)
<b>純利益</b>	<b>80億円</b>	<b>(37億円)</b>

※1 うち、健全化基金一般勘定繰入金について、H21決算は190億円、H22決算は169億円。

※2 うち、健全化基金支払利息について、H21決算は239億円、H22決算は157億円。

# 資産の状況

- ◆ 平成22年度末現在の**資産総額は23兆2,267億円**で、平成21年度末現在より417億円増加。
- ◆ 有価証券が5,268億円減少したものの、貸付金、現金預け金がそれぞれ2,016億円及び3,673億円増加したこと等が要因。

## 【平成22年3月31日現在】

貸付金	22兆302億円
有価証券	9,844億円
現金預け金	1,492億円
その他資産	171億円
有形固定資産	29億円
無形固定資産	9億円
<b>合計 23兆1,849億円</b>	

## 【平成23年3月31日現在】

貸付金	22兆2,318億円	(2,016億円)
有価証券	4,575億円	(▲5,268億円)
現金預け金	5,166億円	(3,673億円)
その他資産	170億円	(▲1億円)
有形固定資産	29億円	(▲0億円)
無形固定資産	7億円	(▲1億円)
<b>合計 23兆2,267億円</b>		<b>(417億円)</b>



資産総額は  
417億円増加

※ 有価証券・現金預け金の合計 1兆1,337億円

※ 有価証券・現金預け金の合計 9,742億円

# 負債の状況

- ◆ 平成22年度末現在の負債総額は23兆1,574億円で、平成21年度末現在より330億円増加。
- ◆ 負債の大半を占める債券は2,072億円減少したが、金利変動準備金及び公庫債権金利変動準備金の合計額が2,454億円増加したこと等が要因。

## 【平成22年3月31日現在】

債 券	18兆5,344億円
地方公共団体健全化基金	9,069億円
金利変動準備金	4,400億円
公庫債権金利変動準備金	3兆1,110億円
利差補てん積立金	1,138億円
その他	180億円
<b>合計</b>	<b>23兆1,243億円</b>

## 【平成23年3月31日現在】

(増減)

債 券	18兆3,271億円	(▲2,072億円)
地方公共団体健全化基金	9,158億円	(88億円)
金利変動準備金	6,600億円	(2,200億円)
公庫債権金利変動準備金	3兆1,365億円	(254億円)
利差補てん積立金	998億円	(▲139億円)
その他	179億円	(▲0億円)
<b>合計</b>	<b>23兆1,574億円</b>	<b>(330億円)</b>



負債総額は  
330億円増加

# 純資産の状況

- ◆ 平成22年度末現在の純資産総額は693億円で、平成21年度末現在より87億円増加。
- ◆ 平成22年度における一般勘定の純利益80億円、管理勘定の純利益80億円を各々の積立金として計上したが、金利スワップ取引の解約に伴い△72億円、金利スワップの時価評価による△10億円等を繰延ヘッジ損益として計上したことが要因。

【平成22年3月31日現在】

地方公共団体出資金	166億円
一般勘定積立金	58億円
管理勘定利益積立金	395億円
繰延ヘッジ損益 △13億円 (うち時価△10億円)	

合計 **606億円**

【平成23年3月31日現在】

地方公共団体出資金	166億円
一般勘定積立金	138億円
管理勘定利益積立金	475億円
繰延ヘッジ損益 △86億円 〔うち金利スワップ解約 △72億円 時価 △10億円〕	

合計 **693億円**

(増減)

(-)

(80億円)

(80億円)

(▲73億円)

(87億円)

純資産総額は  
87億円増加



# (参考) 平成22年度決算における主要勘定の状況

(単位:億円)

## 【貸付金】

前期末 残高 ①	貸付額 ②	回収額 ③	期末残高 ①+②-③
220,302	18,328	16,312	222,318

## 【債券】

前期末 残高 ①	発行額 ②	償還額等 ③	期末残高 ①+②-③
185,344	20,331	22,404	183,271

## 【地方公共団体健全化基金】

前期末 残高 ①	納付金等 ②	基運用益 ③	利下げ補てん 所要額 ④	期末残高 ①+②+③-④
9,069	66	213	191	9,158

## 【利差補てん積立金】

前期末 残高 ①	取崩額 ②	期末残高 ①-②
1,138	139	998

## 【金利変動準備金・公庫債権金利変動準備金】

	前期末残高 ①	年次繰入れ ②	公庫貸付に係る 利下げ所要額 ③	公営企業 債券借換益 ④	期末残高 ①+②+③+④
金利変動準備金	4,400	2,200	-	-	6,600
公庫債権金利変動準備金	31,110	△2,200	169	2,284	31,365